

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：拠点間の連携・交流を支えるとちぎの道づくり

事業主体名：栃木県、宇都宮市、足利市、栃木市、鹿沼市、真岡市、大田原市、
那須塩原市、那須烏山市、下野市、益子町、茂木町、高根沢町、那須町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1)上位計画等と整合が図られている。 (計画名 とちぎの安心・成長・魅力を築く県土づくりプラン2016)	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合が図られている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合が図られている。	○
3)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性、円滑な事業執行の環境	
1)全体事業費、要素事業の額が適切である。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称 : とちぎの成長・発展を支える社会基盤整備

事業主体名 : 栃木県、宇都宮市、栃木市、鹿沼市、上三川町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1) 上位計画等と整合が図られている。 (計画名 とちぎの安心・成長・魅力を築く県土づくりプラン2016)	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合が図られている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合が図られている。	○
3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性、円滑な事業執行の環境	
1) 全体事業費、要素事業の額が適切である。	○
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

事前評価チェックシート

計画の名称： 災害に強く信頼性の高い幹線道路ネットワークの整備

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 上位計画等と整合性が確保されている。(計画名 栃木県国土強靱化地域計画、とちぎ道づくりプログラム)	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

事前評価チェックシート

計画の名称： とちぎの成長・発展を支える社会基盤整備2022

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合が図られている。(計画名 とちぎの未来を築く県土づくりプラン2021)	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性、円滑な事業執行の環境 1) 全体事業費、要素事業の額が適切である。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性、円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

事前評価チェックシート

計画の名称： 拠点間の連携・交流を支えるとちぎの道づくり2023

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合が図られている。(計画名 とちぎの未来を築く県土づくりプラン2021)	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性、円滑な事業執行の環境 1) 全体事業費、要素事業の額が適切である。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性、円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○